



12月定例市議会 市長所信

12月議会が12月6日から22日までの17日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されます。今議会で表明された主な内容につきましては、次のとおりです。

主要施策の進捗状況について

2年前の市長4期目就任に当たり、「阿南に住む幸せを次世代へ」を理念として、地方創生に向けた主要施策45項目の公約を掲げさせていただき、取組を進めてきました。この度、任期の折り返し点を迎えたことから、公約の進捗状況について、概要をご報告申し上げます。

まず、「子育て支援の充実」でありませんが、医療費の無料化については18歳まで延長済みであり、保育施設の整備では岩脇こどもセンターが完成しました。

また、待機児童の減少に向けた保育士の確保と処遇の改善に加え、放課後児童クラブの拡充、障がいのある子どもたちの保育の充実および私立幼稚園保育料軽減への支援のほか、不妊治療の支援拡充、子どものインフルエンザ予防接種費用の一部助成を実施しています。

次に、「地域医療の確立」では、阿南医療センター整備事業および市が建設する阿南健康づくりセンター建設事業が、ともに着工済みであり、阿南医

療センターを中心とする地域医療体制の確立に向けた取組が進捗しているほか、乳がん・子宮頸がん検診の支援拡充や美容室に血圧計を備えるなど、市民が定期的に健康チェックを行うことができる環境づくりにしても事業を推進中です。

次に、「南海トラフ地震・津波対策」であります。津波発生時の緊急避難場所として「命山」（人工高台）の整備事業が進行しているほか、県と連携した急傾斜地崩壊対策事業の促進、危険廃屋等の除却支援事業にも取り組んでいます。

今後とも、常に時代の潮流を読み取り、一歩先を見据え、本市の持つ強みを最大限生かしながら、相乗効果の高い施策を実施してまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。※紙面の都合上、主要施策の一部のみを掲載しました。全項目の進捗状況は、市ホームページや市議会会議録をご覧ください。

庁舎建設事業

庁舎建設事業もいよいよ最終年度を

迎え、平成25年3月の工事着手から5年目となる本年度は、新庁舎北側および東側の外構整備と、仮庁舎敷地の来庁者用の駐車場整備に取り組んでいます。

新庁舎が完成するまでの間、使用していましたが第1仮庁舎（旧阿南保健所）ですが、解体工事が平成29年10月末に完了し、解体跡地の駐車場整備と新庁舎北側の外構整備を並行して進めています。

1月からは、新庁舎東側の外構および駐輪場工事と、第2仮庁舎（旧ハロワーク）北側の第2駐車場と郵便局西側の第3駐車場を合わせた約4000平方メートルを来庁者および公用車の駐車場として、引き続き整備を進めます。駐車場整備により、133台の駐車が可能となり、さらに、労働基準監督署跡地の市有地も公用車駐車場として併せて整備し、軽自動車10台余りの駐車スペースが確保できます。

新庁舎外構整備、駐車場整備とも本年度内の完成を見込んでおり、当該工事の完成により、長年にわたる庁舎建設に関するすべての事業が完了します。

認知症高齢者対策について

本市において、近年、認知症高齢者が行方不明になる事案が多発していることから、地域における見守りネットワークの強化を図るとともに、行方不明高齢者の身元確認や関係者間の情報共有を目的とした新規事業を平成29年12月1日から開始しており、認知症高齢者やその家族が安心して在宅生活を送ることができるよう支援してまいります。

まず、「阿南市高齢者等見守りキーホルダー事業」は、認知症状のある高齢者等の緊急連絡先を市に登録していただき、登録番号を記載したキーホルダーを交付します。このキーホルダーを常に身に付けることで、高齢者が徘徊等で行方不明になった場合には、キーホルダーの登録番号を、市の介護・ながいき課または消防本部に連絡いただくことで、身元を確認することができます。早期発見につながります。

次に、「阿南市徘徊高齢者等SOSネットワーク事業」は、徘徊のおそれのある認知症高齢者等の写真および情報をあらかじめ市および消防本部に登録しておくことで、行方不明者発生時における早期発見と家族等への支援を図ることを目的としています。また、行方不明等が発生した場合には、消防本部や高齢者お世話センターおよび地域の関係機関から構成する「徘徊高

野球のまち推進事業について

2020年に東京オリンピックが開催されるにあたり、「Jリーグアグリあなスタジアム」や「あななんアリーナ」など、充実した練習環境を生かして、野球競技に出場するチームの事前合宿の誘致に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

この取組は、東京オリンピックの合宿誘致を担当する徳島県民環境部の国際スポーツ大会室から、県と一致協力して台湾チームの合宿誘致に尽力してほしいとの要請を受け、県とともに推進しています。

交渉にあたり、徳島インディゴソックス球団が台湾野球界と強いパイプがあり、全面的な協力体制にあります。また、昨年台湾からインディゴソックスに所属していた張泰山さんが台湾球界を代表する有名選手であり、台湾球界に発言力があることから、県が「国際スポーツ親善大使」を委嘱し、任に当たっていただくことになっていきます。

また、7月には、担当職員を派遣し、張泰山さんと信頼関係を深めるとともに台湾野球協会の要人と協議を重ねていて、早ければ1月中にも、台湾

図書館の「障がい者郵送貸出サービス」の実施について

図書館では、すべての市民に等しく図書館サービスを提供することをめざし、従来から、図書館利用に障がいのある方々へのサービスとして、大活字本、点字図書、録音資料等の障がい者サービス用資料の収集や提供、また、拡大読書器、老眼鏡、ルーペ等による読書の援助に努めてきました。

図書館での障がい者サービスのより一層の充実を図るために、1月5日から「障がい者郵送貸出サービス」を新たに実施します。

この「障がい者郵送貸出サービス」は、身体障害者手帳等を有する方が希望する図書館資料を電話、メールまたはファクシミリで図書館にお申し込みいただき、日本郵便株式会社「心身障がい者ゆうメール」を利用して、自宅に郵送するサービスで、資料の返却も郵送で行うため、利用者は来館の必要がなく、自宅にいながら図書館資料を自己負担なくご利用いただくことが可能となります。

市域における商業施設等の進出について

平成24年度に、本市の特性を生かした土地利用の誘導を促すため、県から都市計画法に基づく開発許可制度の権限移譲を受け、都市計画マスタープランに基づき、本市独自の条例を制定することによって、区域および目的等を定め、商業施設等の立地に関する規制緩和を促進するものとし、市街化区域に隣接する幹線道路沿道等を中心に開発を誘導いたしました。

全国足利氏ゆかりの会総会について

平成29年10月25日に神奈川県鎌倉市において開催されました「全国足利氏ゆかりの会総会」において、平成30年度の第33回総会を本市で開催することに決定しました。

本市での総会開催は、平成19年度の第22回総会以来、11年ぶり3回目となります。

全国足利氏ゆかりの会は、9市町および50団体で構成されていて、総会には、足利家第28代目当主である足利義弘様をはじめ、全国各地から本市にお越しいただくことになっています。今後は、開催に向け、鋭意準備を進めていきたいと考えています。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。

また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。